

激甚化・頻発化する大規模水害に対する迅速な避難に向けて 大阪府域の首長が集結し、意見交換を実施

【令和3年度 淀川管内水害に強い地域づくり協議会 首長会議











大規模水害に対する迅速な避難に関する意見交換

◆「河川管理者からのホットライン」および「広域災害の情報共有とタイミング」を議題として、**4市町の首長による** 意見交換を行いました。

議題①:河川管理者からのホットライン

住民への避難指示や避難所の開設準備等がより 効率的かつ迅速に実施できるように、河川管理者 から出されるホットラインの適切なタイミング等 について意見交換を行いました。

★「早めのタイミング」で情報提供が重要!

- 避難判断水位超過の時点で、ホットラインをい ただいているが、水位の予測等になるべく**早い** 段階で情報提供をいただきたい。
- よりリアルな避難のタイミングや行政の果たさ なければならない役割について、専門家の皆様 の意見をいただきたい。
- 高台への避難を行う上で、幹線道路にいかにア クセスするかが重要であるため、訓練等を通じ て**関係機関と連携**した対応を行っていきたい。
- 上流側である京都側の情報提供も頂きたい。
- 洪水により瞬く間に浸水してしまうため、**早め** の情報提供を頂きたい。

議題②:広域災害における情報共有とタイミング

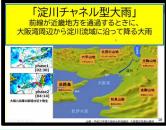
近年、激甚化・頻発化する大規模氾濫による水害 を想定し、広域災害の発生に対応できるような情報 共有と、そのタイミングについて意見交換を行いま した。

★専門家の「避難判断」と市町への「助言」が重要!

- 1市町ではなく、自治体を跨ぐ被害が想定されるた め、避難情報の齟齬による混乱を避ける意味でも広 域的に避難判断が必要がある。
- 水位ではなく降雨量で避難を判断するためには、非 常に高度で専門的な判断が必要であることから、国 が主導し、情報提供をいただきたい。
- 避難判断の空振りによって市民の理解が得られない ことが課題であり、広域的な避難判断を行う際は、 専門家の必要な判断があれは、仮に空振ったとして も<u>市民の理解**が得られる**</u>のではないか。
- 広域的な避難に向けては、**国・府の協力なリー シップ**を発揮していただきたい。

「淀川チャネルと最近の気象」に関する講演

◆気象予報士で、日テレNEWS24気象キャスターとして 活躍されている藤森涼子氏より、近年の全国の洪水・土 砂災害や最近の気象状況や、**淀川チャネルという淀** 川沿いに発生しやすい降雨帯、気候変動による将来 の気象について、ご講演いただきました。





淀川管内水害に強い地域づくり協議会の規約改正、活動報告など

- ◆協議会の構成員追加(鉄道関係者)等に伴う規約改正、「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく減災に係る 取組方針の改定を行いました。
- ◆協議会における**令和2年度の活動内容**を確認するとともに、令和3年6月に実施した「**住民の水害に対する** 意識調査」の調査結果及び得られた考察(経年的な変化・傾向や今後の課題)を共有しました。

◆開催概要

時:令和3年7月13日(火)15:00~16:40

所:WEB方式 (Zoom) による開催

参加者:19機関が出席

【問い合わせ先】 国土交通省 近畿地方整備局 淀川河川事務所 調査課



〒573-1191 枚方市新町2-2-10 TEL 072-843-2861